

## 第10回ASTOP（アジア不拡散協議）について

平成25年12月3日  
外務省 軍縮不拡散・科学部長

### 1. ASTOP（Asian Senior-level Talks on Non-Proliferation）について

#### （1）設立の背景

本件ASTOPは、大量破壊兵器等の不拡散についての懸念の高まりを受け、（ア）不拡散についての取組の重要性についての関係国間の認識共有及び関係国の意識の向上、（イ）関係する国際的な取組への参加についての関係国に対する働きかけ等を目的に、我が国が主催国となって、平成15年に設立。

ASEAN10カ国、中、韓、そしてアジア地域の安全保障に共通の利益を持つ米、豪等（計17ヶ国）の局長級の不拡散政策担当者が一堂に会し、アジアにおける不拡散体制の強化に関する諸問題について協議。議長は、外務省軍縮不拡散・科学部長。

※参考：本件設立前後の不拡散分野の出来事

02年：イランによる秘密裏の核活動の発覚

03年：北朝鮮によるNPTからの脱退宣言

同年：リビアによる秘密裏の核計画の発覚（→これをきっかけに、カーン・ネットワークの存在が明らかに。）

#### （2）意義と狙い

設立以来、不拡散分野における取組の重要性や意義について討議するとともに、特に、輸出管理や保障措置等をはじめとする関連分野についての各国の取組についての経験や知見の共有や、右を通じての不拡散に係る国際的取組の強化を推進。

### 2. 今次協議の概要

（1）本件協議開始10回目となった今次の協議においては、地域の不拡散問題、IAEA保障措置の強化・追加議定書の普遍化、輸出管理と拡散対抗のための取組、核セキュリティ等について議論が行われた。

（2）このような議論の結果を踏まえ、これまでのASTOPのアジア地域における不拡散分野の努力に対する貢献、不拡散分野を巡る新たな課題及び今後の方向性について述べた議長声明（別添）を、北野充軍縮不拡散・科学部長名で発出。

（了）